

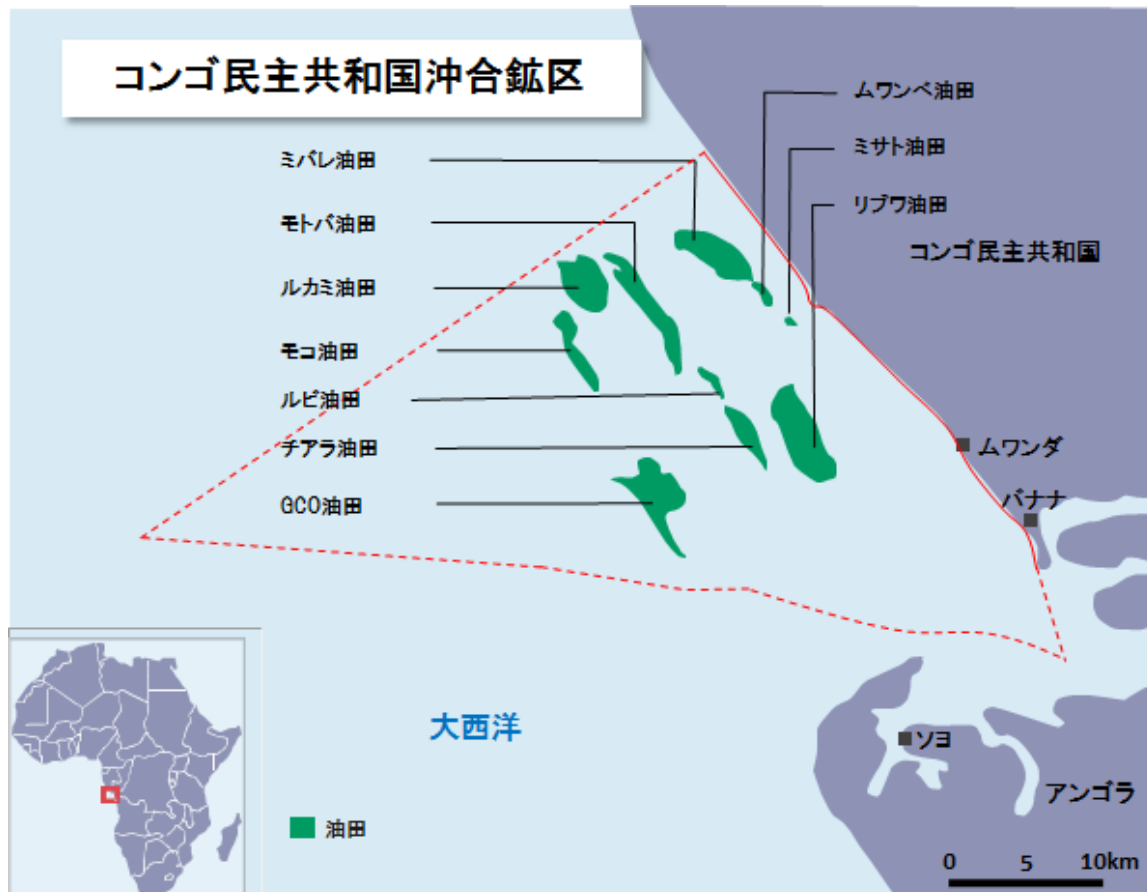
平成 29 年 12 月 6 日

各 位

会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号	03-5572-0233

コンゴ民主共和国沖合鉦区の権益延長について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社の帝石コンゴ石油株式会社を通じて、オペレーターのMuanda International Oil Company Ltd.（以下、MIOC社）及びパートナーのChevron社と共に、コンゴ民主共和国沖合鉦区（以下、本鉦区）における原油の開発・生産事業に参画しております。今般、コンゴ民主共和国政府との間で、本鉦区の権益期限（現行：2023年11月21日まで）を2043年11月21日まで20年間延長することに合意しましたので、お知らせいたします。



鉦区位置

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

本鉱区の生産中の油田は、コンゴ民主共和国の西岸沖合、水深約4～20メートルに位置しています。1975年に生産を開始した後、40年以上に亘り安定的に生産を継続しており、現在は計10油田から日量約1.1万バレル（2017年9月平均（100%ベース））の原油生産を行っています。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微ですが、今回合意した20年間の権益延長により、本鉱区における当社の将来生産量及び埋蔵量の増加が見込まれ、当社が中長期ビジョンに掲げる「上流事業の持続的拡大」への貢献が期待されます。当社は引き続き、本鉱区における生産量及び埋蔵量の維持・拡大を含めたプロジェクト価値の増大に向けて取り組んでまいります。

以上

< 参考情報 >

本鉱区の概要

鉱区：	コンゴ民主共和国沖合鉱区
当社権益取得年：	1970年
鉱区位置：	コンゴ民主共和国の西岸沖合に位置
鉱区面積：	約1,000平方キロメートル
水深：	約4～20メートル（生産中油田）
生産量：	原油日量約1.1万バレル（2017年9月平均（100%ベース））
権益期限（延長後）：	2043年11月21日
権益比率：	MIOC社（オペレーター、Perenco社の子会社）：50% 当社：32.28% Chevron社：17.72%